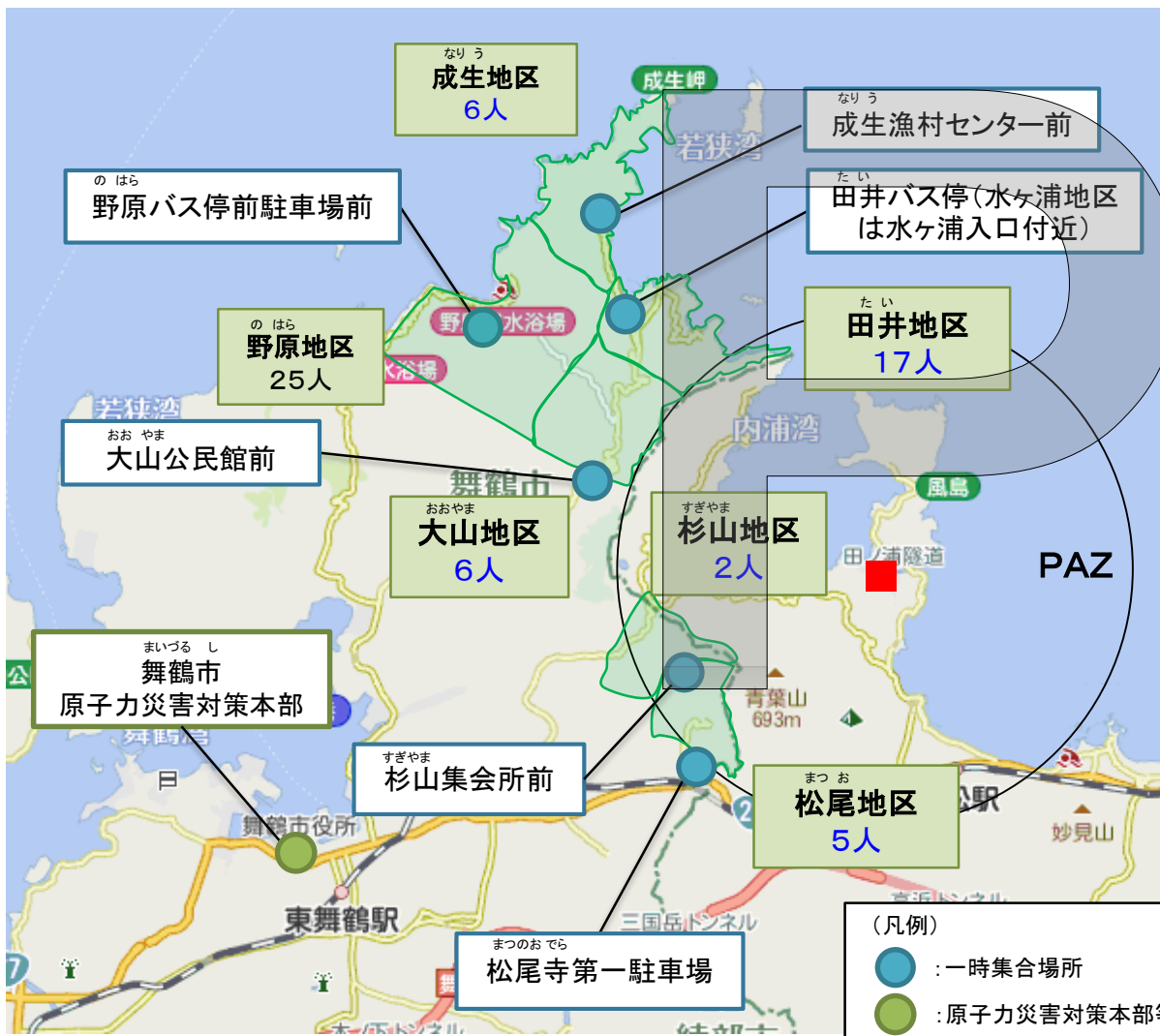


舞鶴市のPAZ内における自家用車で避難できない住民の数

➤ 舞鶴市による想定では、舞鶴市の6地区における自家用車で避難できない住民は全578人のうち61人。



PAZ内地域	避難対象者	避難者数	
		バス避難者数	自家用車等避難者数
まつお 松尾地区	43人	5人	38人
すぎやま 杉山地区	18人	2人	16人
おおやま 大山地区	55人	6人	49人
たい 田井地区	165人	17人	148人
なりう 成生地区	56人	6人	50人
のほら 野原地区	241人	25人	216人
合計	578人	61人	517人

※人数は平成29年4月1日現在

※舞鶴市においては、在宅の避難行動要支援者を除く各地区の人口のうち9割が自家用車で避難すると想定

(凡例)

- : 一時集合場所
- : 原子力災害対策本部等

- ▶ 高浜町において全面緊急事態で必要となる輸送能力は、自家用車で避難できない住民約82人分、バス2台。
- ▶ 全面緊急事態発生時には、福井県嶺南地方のバス会社が保有する車両のほか、関西電力が配備する車両により、必要車両台数を確保。
- ▶ 車両及び運転者については、福井県バス協会等の協力により、更に余裕を持った台数・人数を確保。

＜高浜町において全面緊急事態で必要となる輸送能力＞

	想定対象人数※1	必要車両台数	備考
自家用車で避難ができない住民	82人	2台	1台当たり45人程度の乗車を想定 【資料P46】

※1 数字は現段階で地方公共団体が把握している暫定値

＜高浜町において全面緊急事態での輸送能力の確保＞

		確保車両台数	備考
		バス	
(A)必要車両台数		2台	
(B)確保車両台数		計2台	
確保先	バス会社[福井県嶺南地方]	1台	保有車両台数 バス187台
	関西電力	1台	保有車両台数 バス10台

※ 不測の事態により確保した輸送能力で対応できない場合、実動組織(警察、消防、海保庁、自衛隊)に支援を要請

- 舞鶴市において全面緊急事態で必要となる輸送能力は、自家用車で避難できない住民61人分、バス6台。
- 全面緊急事態発生時には、舞鶴市が保有するバスのほか、舞鶴市内のバス会社が保有する車両、関西電力が配備する車両により、必要車両台数を確保。
- 車両及び運転者については、京都府バス協会等の協力により、更に余裕を持った台数・人数を確保。

＜舞鶴市において全面緊急事態で必要となる輸送能力＞

	想定対象人数 ※1	必要車両台数	備考
自家用車で避難ができない住民	61人	6台	避難対象となる6地区それぞれにバスを向かわせる想定 1台当たり45人程度の乗車を想定 全住民の1割が自家用車で避難できないと想定【資料P47】

＜舞鶴市において全面緊急事態で必要となる輸送能力＞

※1 数字は現段階で地方公共団体が把握している暫定値

		確保車両台数	備考
		バス	
(A) 必要車両台数		6台	
(B) 確保車両台数		計10台	
確保先	舞鶴市	3台	保有車両台数 バス3台
	舞鶴市内のバス会社	6台	保有車両台数 バス79台(乗合含む) タクシー95台 タクシーを用いた避難が実施できた分必要バス台数は減少
	関西電力	1台	保有車両台数 バス10台